

**トレーラーハウスの
活用事例、法令、防災との関係**
安心安全なトレーラーハウスの活用

平成28年03月08日

一般社団法人 **日本RV輸入協会**
会長 原田 英世

1

【トレーラーハウスの分類】

トラベルトレーラー タイプ「機動性が良い」



大型トレーラーハウス「中長期滞在型」



RV輸入協会と大型トレーラーハウスの歴史

- 平成08年02月 日本RV輸入協会 設立
 - 02月 OTO(市場開放苦情処理対策)に問題定義「米政府」トレーラーハウスやキャンピングカーの輸入の円滑化
 - 03月 ①定置トレーラーハウスを特殊車両とすること
②RV関連法の整備を行う事 「閣議決定」
- 平成09年03月 国交省住宅局(旧建設省)「住指170号通達」協力
 - 11月 経済対策閣僚会議においてトレーラーハウス規制緩和決定
- 平成20年10月 内閣府中央防災会議「首都直下地震避難対策等専門調査会」
- 平成23年03月 東北地方大災害発生
- 平成24年05月 国交省住宅局住宅生産課「応急仮設住宅建設必携とりまとめ」
 - 12月 国交省自動車局「基準緩和認定制度施行」審議会協力
- 平成27年10月 日本RV輸入協会 一般社団法人
- 平成27年11月 災害発生時出動型「RVパーク」の監修及び後援

3

OTOにおいて

平成8年02月
OTO(市場開放苦情処理対策)に
問題定義

平成8年03月
トレーラーハウス
や
キャンピングカー
の
輸入の円滑化
「閣議決定」











<経緯>

平成8年2月14日	OTO 推進会議平成7年度第9回専門会議開催 問題提起者：米国大使館（日本 RV 輸入協会） 議 題：トレーラーハウスやキャンピングカーの輸入の円滑化 ①定置トレーラーハウスを特殊車両とすること。 ②RV 関連法整備を行うこと。
平成8年3月18日	市場開放問題苦情処理推進会議第三回報告審とりまとめ。
平成8年3月26日	上記内容を閣議（OTO 対策本部）決定
平成9年3月31日	上記閣議決定を受け建設省は「トレーラーハウスの建築基準法上の取扱について」を通達。（住指第170号）
平成9年11月18日	経済対策閣僚会議にて「21世紀を切り開く緊急経済対策」の中にRV 関連法整備が取入れられた。
平成10年10月9日	OTO 推進会議平成10年度第四回専門会議開催 問題提起者：米国大使館（日本 RV 輸入協会） 議 題：建設省通達は OTO 対策本部決定に対し不十分であり根本的解決を図るべきである。
平成12年2月3日	OTO 推進会議平成12年度第六回専門会議開催 問題提起者：米国大使館（日本 RV 輸入協会） 議 題： ①けん引自動車及び被けん引自動車に係わる車検制度の問題 ②モーターホーム（大型キャンピングカー）に係わる保管場所発行基準の見直し

4

RVのタイプ分類および定義

1999年1月19日改正

	分類	商品名	定義	イメージ
自走式RV	モーターホーム	クラスA	特別に設計されたキャンピングカー専用ストリップシャーシの上に製造されたもの。	
	レクリエーションやキャンピング、旅行での活用を主目的として、長期滞在が可能な設備を有し、コーチビルダーによって自走式シャーシの上に製造された車両で、日本国内での自動車分類上「8ナンバー」にあたるもの。	クラスC	特別に設計されたキャンピングカー専用キャブ付きシャーシの上に製造されたもの。	
		クラスB	バンシャーシのボディを改造して製造されたもの。	
		バンコンバージョン	バンコンバージョン	レクリエーションやキャンピング、旅行での活用を主目的として、コーチビルダーによりバンシャーシを改造して製造された車両で、上記「クラスB」以外のもの。
トラックキャンパー	トラックキャンパー	レクリエーションやキャンピング、旅行での活用を主目的として、トラックの荷台に積載できるよう製造されたもの。		
けん引式RV	キャンピングトレーラー	パークトレーラー	けん引車の後端部に備えられたけん引装置(ボールヒッチ)によってけん引され、外観が通常の家に類似したもの但し、工場生産型で床面積400スクエアフィート(37.16㎡)を超えるものは含まない。	
	レクリエーションやキャンピング、旅行での活用を主目的として、長期の滞在が可能な設備を有し、けん引式シャーシの上に製造された車両	フィフスホイール	けん引車の後部荷台に備えられたけん引装置(フィフスホイール)によってけん引されるもの。	
		トラベルトレーラー	けん引車の後端部に備えられたけん引装置(ボールヒッチ)によってけん引されるもの。	
		フォールディング・キャンピング・トレーラー	トレーラーの中で折り畳み式構造を持つキャンピングトレーラーをいう。	
	カーゴトレーラー	カーゴトレーラー	レクリエーションやキャンピング、旅行のための荷物を積載することを主目的として、けん引式シャーシの上に製造された車両。	
	ボートトレーラー	ボートトレーラー	レクリエーションのためのプレジャーボートを積載するための専用の荷台と、固定するための構造や装置を有し、けん引式シャーシの上に製造された車両。	

資料 日本RV輸入協会(定款)別表より

公共活用 (長野冬期オリンピック)



1998年2月、「長野駅オリンピックプラザ」で10台の大型トレーラーハウスが活用された。(国際大会で公式に使用された日本での初事例)

公共的な事業・施設で社会的に活躍



河川敷利用（4台）（東京都水辺のガーデン施設）



駅前公園利用、観光案内センター塩尻市



長野オリンピック東口オリンピックプラザ（10台）

9

多彩なデザイン、豊富なバリエーション、 住居タイプ設置例



独立開業に宿泊施設（北海道）



被災地での活用（岩手県）



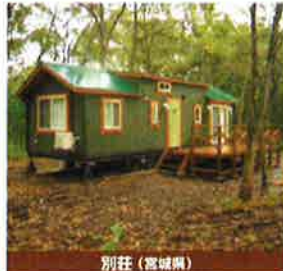
介護用離れ（長野県）



ゴルフ場活性化（宿泊施設を増設・島根県）



ゴルフ場活性化（宿泊施設をオープン・島根県）



別荘（宮城県）

10



2地域居住や交流の場所「米国RVパーク」

1、地域の活性と文化交流の場所作り

・日本では「公園・道の駅・廃校跡地・農園(クラインガルデン)活用、他」

2、楽しい生活、人的交流による活性化

・人集め、文化交流の場所(地方の創生)

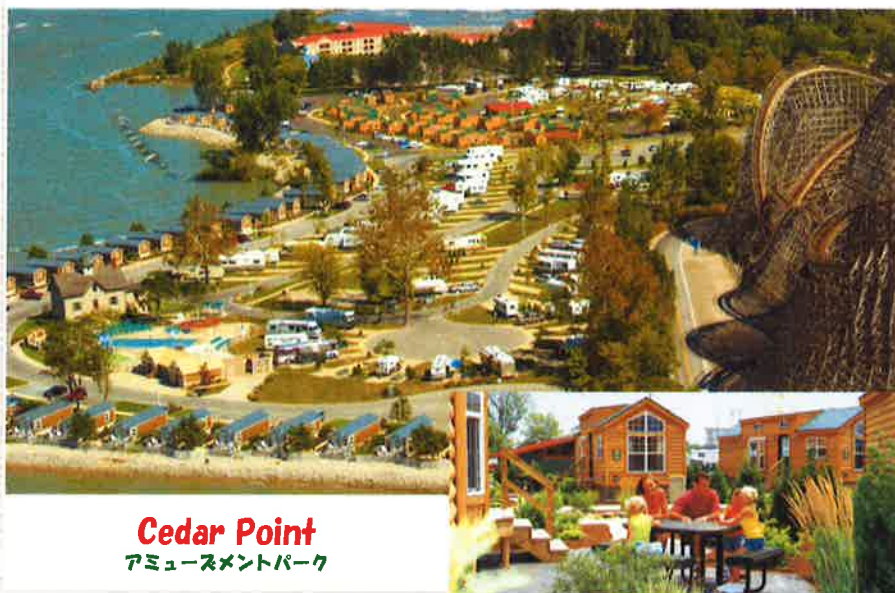
3、災害発生時等の活用

4、平成9年規制緩和より輸入の増加

5、新しい産業としての確立

医療モデル、FC仕様の拡大、海外向け製品の研究

移住交流の場RVパーク（米国）



Cedar Point
アミューズメントパーク

●米国では17,000(1997)⇒20,000(2008)ヶ所点在しております。500万台以上

※自然災害等が発生すると被災者のための施設等として活用します。（積置数は数十万台。）

●マスコットがいる、自然環境を楽しむ、運営システムがある。

National Association of RV Parks & Campgrounds (National ARVC)



災害発生時等の活用



FEMA アメリカ合衆国連邦緊急事態管理庁
(Federal Emergency Management Agency of the United States)

災害時の仮設住居としても トレーラーハウスが活用されています。

2005年8月末、アメリカ合衆国南東部を襲った大型のハリケーン カトリーナ。
多くの尊い命が奪われ、家屋が倒壊・水没するなど、甚大な被害をもたらしました。
その際、住む場所を失った被災者の仮設住居として多く利用されたのが、
移動・設置が容易なトレーラーハウスでした。

FEMAとは…

FEMAは、洪水、ハリケーン、地震および原子力災害を含む、その他の災害に際して、連邦機関、州政府、その他の地元機関の業務を調整することを請け負っている。
また、家屋や工業の再建や企業活動・行政活動の復旧にあたって、資金面からの支援を行う。

15

アメリカでの活用事例



平常時はRVパークとして活用



牽引車両でミシシッピへ



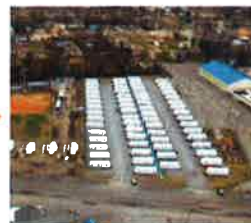
ミシシッピ仮設住宅



平常時はRVパークとして活用



牽引車両でニューオリンズへ



学校の敷地内に仮設住居として設置

災害時におけるトレーラーハウスの一番の利点は早期復興に着手できること。
世界的に認められた機動性の高さも、大切な品質の一つです。

16

トレーラーハウスによる震災復興支援

1995年の阪神淡路大震災、2007年の新潟中越沖地震、そして2011年の東日本大震災一。
 まず、被災地に必要なのは、目も早い復興です。
 私たちができる事として、トレーラーハウスを活用し、行政と共に復興支援を進めてきました。

内閣府主催「防災フェア2011」に出展 国営東京臨海広域防災公園にて



▲災害避難所、休憩所等の活用として



▲東京都防庁の車両による地震体験も開催



▲防災施設から見たトレーラーハウス

主催：内閣府

後援：警察庁、総務省、消防庁、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、気象庁、海上保安庁、防衛省、東京都、江東区

新潟中越沖地震での活用事例



▲被災した、この場所に設置を計画



▲搬入されるトレーラーハウス



▲地元商店街の方々立ち食いのもと引渡し式



▲商店街復興のモニュメントに

東日本大震災での活用事例



▲陸前高田米崎中学校へ向けて運行情中



▲仮設住居前にて式典、贈り引渡し



▲皆さんと内覧会



▲仮設住居、自治会の集会所として



▲災害ボランティアセンターとして活用(真仙沼市)



▲復興局として2台設置(住田町)



▲巻手前住田役場内ボランティア事務所(4月10日)



▲津波で沈んだ漁具生産組合の事務所として設置

災害復興の活用事例



▲津波に倒壊する所復興管理の再開



▲設置後1カ月、保鮮所の許可も下り無事開店

長野県大型リゾート土砂崩落での活用事例



▲崩壊した建物の解体が終わるまで



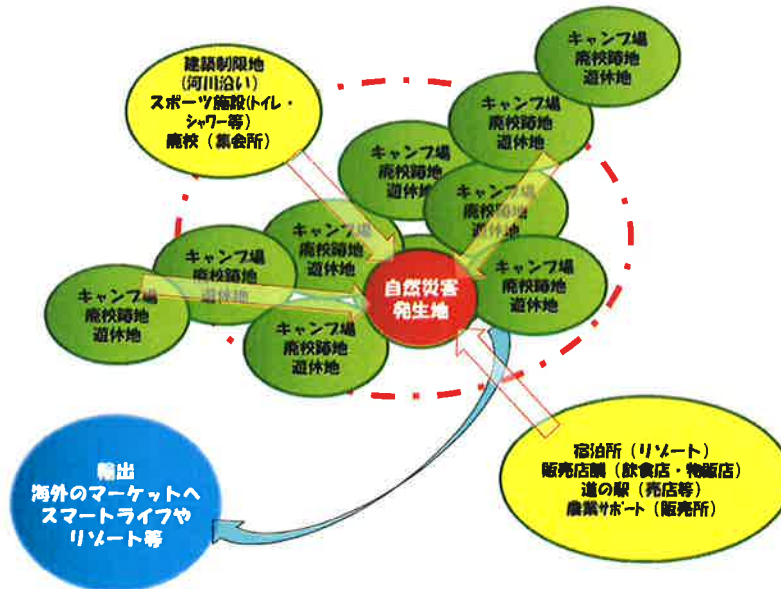
▲トレーラーハウス設置完了

仮設住宅の活用見守り支援に活用 宮城県気仙沼市（仮設住300世帯700人へ支援）



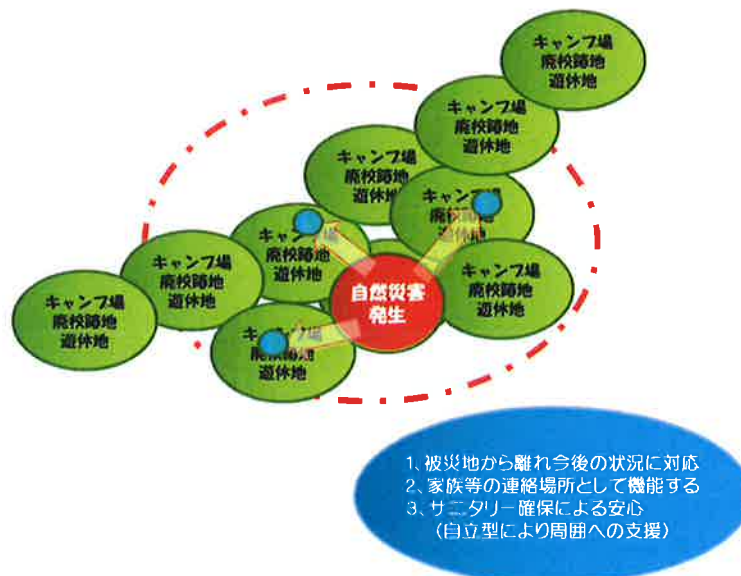
19

RVパークの活用（災害発生時）緊急的に早期復旧



20

RVパークの活用 (災害発生後) 衣食住基盤の確保



21

安心安全な製品トレーラーハウスの普及

- ・建築基準法のトレーラーハウス「住指170号適速、随時かつ任意に移動できる」
- ・道路運送車両法でいうトレーラ・ハウス（基準値和認定を受けることができる製品）

安心なスペック

- ・連結全長**21m**(本体全長約**13m**)×本体最大幅**3.5m**未満×最大地上高**4.2m**未満
- ・最小**四転半径12m**、**ブレーキ制動能力5m**未満、**安定傾斜角30°**以上、
- ・豪雪に耐える、**(2×4工法以上)**移動できる構造（構造がしっかりした製品）
- ・排気、換気「**床面積の1/20以上**の自然換気」ができる開口部の設置
- ・化学物質対策「**シックハウス対策**、内装壁・床材**4☆**とする」
- ・採光計算「**床面積の1/7以上**の開口部」の設置
- ・シャーシ(架台)のスペック「**200mm×8mm×80mm**(米ANSI119.5工業規格)」以上
- ・牽引用ヒッチボールのスペック「**2-1/16インチ**(国際標準)」
- ・常備移動しない「**中長期使用により**」車検手続き及び関連手続きは**不要**

新しい産業としての確立

建設業界の海外進出、医療用モデル開発、FC仕様の開発、オフグリッド化等

22

**多彩なデザイン、豊富なバリエーション、
住居タイプ設置例**



こだわりの別荘 (長野県)



週末の田舎暮らし



宿泊施設 (長野県)



温泉施設活性化の為に宿泊施設を増設 (郡山付和室)

23

安心して活用でき、メンテナンスできる事











- 1、ゆったりバス
- 2、シャワートイレ
- 3、畳部屋
- 4、床暖房
- 5、木の内装
(ヒノキ仕上)
- 6、IHキッチン
- 7、互換屋根仕上
- 8、その他

3.11からの研究と活用(H23年6月~H27年12月)

移動できるモバイルな空間として平時の活用 ⇔ 緊急時の活用

- 1 移動型住居⇒RVパーク、キャンプ場作り
内閣府防災(被災者支援金300万円H23年2月)、
JOIN(移住交流の推進と2地域居住に提案)
- 2 移動型店舗⇒全国各地で活用
国交省中部整備局、自治体(葛飾区・江戸川区)、独)産業技術総合研究所、伊藤忠商事、全国市民協議会、
FG展開(ラーメン店舗、ハンバーガー店、たい焼き店等、)
- 3 キャンプ場の活用=RVパークの設置と同様に活用
財)日本オートキャンプ協会、NPO河口湖自然楽校、グランピング活用
- 4 田舎暮らし(別荘感覚での活用)、地域の活性化、過疎化対策、スマートトレーラー
独)産業技術総合研究所見守り、伊藤忠商事ライフケア事業、全国市民協議会(コミュニティーカフェ)
- 5 災害発生時の活用と提案
内閣府防災(中央防災会議 H20年)、(独)防災科学研究所(3.11)、レスキュービークルパーク(H27年)
(独)産業総合研究所コンソーシアム(ホンダ技研、帝人、伊藤忠商事、河口湖自然楽校、アクセンチュア、
パナソニック、CTC、NATIONAL INSTRUMENTS、等)
- 6 道の駅の活用⇒道の駅での活用及び備蓄(伊藤忠商事)
- 7 大学等との研究(研究と運用)
首都大学東京、東京大学、東北大学、法政大学、つくば大学、千葉工業大学、明星大学、明海大学、東京工芸大学

25

トレーラーハウスの

活用事例、法令、防災との関係

安心安全なトレーラーハウスの活用

御清聴ありがとうございました。

平成28年03月08日

一般社団法人 **日本RV輸入協会**
会長 原田 英世

26